

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

・希望が丘東地区は、希望ヶ丘駅北側一帯の南斜面丘陵地を中心とした地域であり、何本もの谷戸筋が複雑な地形を構成し、戸建て住宅と集合住宅が混在しています。現在は22自治会町内会、約5500世帯が暮らし、人口はこの5年で少し増えていて、旭区の平均よりもファミリー層の占める割合が多く、「みんなで築く生き生き活力のある街」をスローガンに、子どもから高齢者までいつでもみんなが「助けあい」「支えあい」「見守り」「ふれあい」、いつまでも安全に安心して暮らせる地域を目指しています。

・二俣川ニュータウン地区は、区中西部に位置し、県運転免許試験場と保土ヶ谷バイパスの間の丘陵地帯を開発して生まれたニュータウンと、その周辺の地区で構成され、開発から50年を経ています。現在は11町内会、約4000世帯が暮らし、その9割を戸建て住宅が占めています。少子高齢化が進んでいますが、「住んでよかったと思える街」をスローガンに、音楽が響き、スポーツが盛んなまち、みんなのふるさとニュータウンとなる地域を目指しています。

・ケアプラザはそれぞれの地域が目指す姿の実現のために寄り添い、何をすべきかを住民の方々と一緒に考え事業運営をしていきます。地域における各種会議、行事等に参加し、常に顔の見える人や団体との関係づくりを進めています。

・地域やケアプラザを拠点として活動している、ボランティアや団体は高齢化してきており、その団体が活動を継続できるよう、新たな参加者の発掘へとつながるケアプラザの自主事業を実施することを心がけています。

・地域に「参加しよう」みんなと「つながろう」まずは「元気になろう」をキーワードに、介護予防と健康寿命を延ばすため、ケアプラザや地域のいろいろな行事に参加し元気な人が元気でいられるまちづくりを考えます。

・認知症の正しい理解促進のため、認知症サポーター養成講座や講演会等の開催による普及啓発に努め、認知症になっても、当事者や家族が安心して生活を送れるよう、地域や関係機関とのネットワーク構築を図ります。

・高齢者のみならず、障害関係および子ども・子育てに関する相談にも幅広く対応しており、専門機関に的確につなぐ中継点の役割をケアプラザは担っていきます。

・職員は、常勤、非常勤を問わず、資質向上を図るため外部研修等に積極的に参加するとともに伝達研修により、内容を職員間で共有し、業務に反映するように努めます。また、指定管理者の法人職員として法令遵守に努め、業務に関わる最新の正確な情報を職員間で共有します。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ケアプラザの広報誌を利用して、幅広い分野の相談に対応していることの情報発信を行う。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の会合や活動に積極的に出席し、地域の皆様がご自身や周りの方の困りごと等を気軽に話せる顔見知りの関係構築に尚一層努めることで、より良く地域を知ること、地域ニーズの把握へと繋げる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	希望が丘東地区の地区社協の方々と連携協力し、生活支援ボランティアの立ち上げおよびシステム作りの支援を進める。また必要に応じ事業推進の支援の場として協議体を立ち上げる。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	新規事業を企画する際、事業終了時に地域でボランティア活動に繋がる道筋を作っていけるよう意識して企画する。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	テーマを決めて会議を行い会議の回数も増やす。地域に出たら状況(課題)を報告し5職種の体制(連携)を作る。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	定期巡回会議や地域ケア会議等を通して連携を図り迅速に問題、課題に対応していく。区役所・区社協と情報共有を図る。新規自主事業は地域福祉保健計画に向けて進める。

## ◆ 事業報告・事業実績評価

### □ 振り返り

・希望が丘東地区では5月より移動販売が始まり、週2回の販売が定着しています。現在、4か所で販売を実施していますが、事業として継続可能な売り上げをキープできています。また、7月には生活支援ボランティア団体「きぼうの手」が立ち上がりました。草むしりからゴミ出しなどちょっとした生活上の困りごとの手伝いを必要とする高齢者に対する活動を行い、利用者も増えてきています。ケアプラザは、どちらも立ち上げ準備段階から関わり、他地域で活動する団体の視察や地域住民へのアンケート実施、説明会の支援を行いました。現在は販売時や包丁研ぎの受付時の会場として場所貸しをしています。

希望が丘東地区は連合自治会、地区社会福祉協議会、民生児童委員協議会、ケアプラザが連携・協力して地域共生社会実現に向けた活動を推進していく団体「地域サポート希望が丘東」を立ち上げ、SDGsの活動を実施しています。第1金曜日の販売時には、「もったいないバザール」と題し、フードロス削減に向けた活動を実施しています。

・二俣川ニュータウン地区では、4月に連合町内会館で月に1度開催されるサロン、「サロンさんさん」が立ち上がりました。3月まで開催されていた、ミニデイ「あかり」がボランティアの高齢化により継続が難しくなり、新たな居場所として二俣川ニュータウン地区社会福祉協議会が中心となって立ち上げを行い、ケアプラザも立ち上げアンケートに協力するなど後方支援を行いました。

・ケアプラザ広報誌「けあぷら通信」を利用したり、地域の会合や催し等に参加してケアプラザが高齢者のみならず障害者関係や子育てに関する相談にも対応していることについて情報発信しました。

・認知症に関しては、アルツハイマーデーに合わせた映画会を企画したところ、定員を超える申し込みがあり地域住民の関心の高さが伺えました。デイサービスのぞみと共催の認知症カフェは3年目に入り、毎回10名程度の参加があります。

・医療との連携では、医療機関への定期的な訪問や意見交換会を続けてきたことで、地域ケア会議や事例検討会などへの参加の呼びかけに医療機関側が快く応じてきています。個別の事案についても情報交換が円滑に行えており連携が深まっていることが実感できました。

・介護予防に関しては、「大人の寺子屋」は4期目に入りました。今年度はケアプラザでの「大人の寺子屋」と並行して新たに清水ヶ丘会館においても年間のプログラムを組み実施しました。エンディングノートの書き方講座や認知症サポーター養成講座、介護保険に関する説明などもプログラムに組み込んで行いました。

・高齢者の健康作りでは今年度は特にスクエアステップに力を入れ、2箇所の会館において定期的に行いました。ステップ後にお茶のみサロンを実施するなどの工夫をし、地域住民の居場所作りも合わせて行いました。

・地域ケア会議では8050問題を取り上げ、区の生活支援課や障害者支援担当ケースワーカー、精神病院の医療ソーシャルワーカー、基幹相談支援センターなどの専門職にも出席を依頼し検討を重ねてきた結果、支援者側の意識の統一やネットワークの構築に繋がりました。また地域に対しては、身近な問題として発信できたと考えます。

### □ 区からのコメント

・ケアプラザが、高齢者だけでなく子育てや障害児・者支援など幅広く相談対応していることについて、今後もあらゆる機会を捉え、積極的・効果的に広報周知を進めていってください。

・ボランティア活動につなげることを見据え、計画的に自主事業を企画・実施しています。特に「みんなの居場所づくり 応援講座」は、参加者が地域活動に一步踏み出すのを後押しする良い機会となりました。今後は、地域の福祉課題を踏まえ、課題解決につながるような取組や、より福祉的な視点を持った人材の育成が進むことを期待しています。

・地域の課題を地域の力で解決する仕組み作りを補助した実績も多く、これからも地域の補助役として、また、取組の発信に取り組んでください。

・個別レベル地域ケア会議や日々の取組の中で関係機関と情報の共有や検討ができ、積み重ねができていていると思います。個～地域づくりへの取組の継続を期待しています。

令和元年度横浜市今宿地域ケアプラザ事業計画書・事業報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	横浜市の職員配置基準を満たす適正な人員配置を行い、職員体制を整えます。常勤、非常勤を問わず、資質向上を図るため外部研修等に積極的に参加するとともに伝達研修により、内容を職員間で共有し業務に反映するように努めていきます。指定管理者の法人職員として法令遵守に努め、業務に関わる最新の正確な情報を職員間で共有することに努めます。ケアプラザ職員として、すべてに差別のない対応をします。	事故ヒヤリ判断対応マニュアル、緊急対応マニュアル、通所介護事業業務マニュアルを活用し、デイサービス業務中の利用者サービス提供時に万全を期します。職員研修を実施し個人情報保護等の職員の意識徹底と注意喚起を図り、事故防止に万全を期していきます。
実績	職員配置は横浜市の基準を満たすように早めの対応で職員の確保に努め充定率100%を達成できました。職員の育成に関してはOJTを基本としつつ外部研修(年間延38件)にも積極的に参加しました。また、定例打合せや朝のミーティングを活用し、公の施設を管理運営しているとの自覚や責任感の醸成にも努めました。また情報の共有化の徹底も図りました。	通所介護サービスでの事故防止の徹底を図るためヒヤリハットや事故等の事例について定例会や朝・夕のミーティングで情報を共有化しました。1年間大きな事故はありませんでした。また、個人情報保護については、判例や横浜市の条例、法人の就業規則を使い個人情報保護の意義や大切さを十分に認識できるよう研修会を実施しました。あわせて他施設での漏えい事案等もその都度共有化を図り事故防止に努めました。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業										
目標	・要支援状態にある高齢者に対し今後も住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、ご利用者の意思を尊重しながら介護予防サービス計画書を作成していきます。	・専門的価値、知識、技術を高め、要介護状態にある高齢者が住みなれた地域で、その人らしく暮らして行けるよう問題や課題に向き合います。 ・地域の身近な相談窓口である地域包括支援センターに併設された居宅介護支援事業所として地域包括支援センター等と連携した支援体制を構築していきます。										
職員体制	・管理者常勤1名・介護支援専門員 専任非常勤1名、兼任非常勤1名	・管理者兼介護支援専門員 常勤1名・介護支援専門員 常勤1名 兼任非常勤1名										
利用者実績 (人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	324	347	343	336	332	329	95	92	89	90	84	83
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	339	333	339	340	340	322	87	91	89	91	86	78

### 3 通所系サービス事業

	通所介護 認知症対応型通所介護						第1号通所事業 介護予防認知症対応型通所介護					
目標	・安全、安心を第一に、ご利用者様の意思やその人らしさを尊重した、きめ細やかなサービス提供を目指していきます。・他者との交流、社会生活への参加、閉じこもりの解消、介護者の負担軽減、身体機能の維持及び改善を目標にサービスを提供していきます。						・安全安心を第一に考え、ご利用者様の意思やその人らしさを尊重したきめ細やかなサービス提供を目指していきます。介護予防の観点から身体機能の維持向上ができる様に運動機能向上プログラムや口腔ケアを実施していきます。					
実施体制	【実施日数】308日 【提供時間】5時間5分 【定員】35名						【実施日数】308日 【提供時間】5時間5分 【定員】10名					
実費負担	(要介護1)599円 (要介護2)708円(要介護3)816円(要介護4)926円(要介護5)1034円 入浴介助54円口腔ケア161円サービス提供体制強化加算7円介護職員処遇改善加算(I) ● 食費負担750円						(要支援1)1766円(要支援2/週1)1766円運動器機能向上加算242円口腔機能向上加算161円選択的サービス複数実施加算515円(要支援2/週2)3621円サービス提供体制加算 要支1 26円介護職員処遇改善加算(I)サービス提供体制加算 要支2 52円 ● 食費負担750円 ● その他 ・リハビリパンツ100円 ・尿とりパット20円					
職員体制	・生活相談員5名(常勤)・看護職員4名(非常勤) ・介護員12名(非常勤)・運転員4名(非常勤) ・事務員1名(非常勤)						・生活相談員5名(常勤)・看護職員4名(非常勤) ・介護員12名(非常勤)・運転員4名(非常勤) ・事務員1名(非常勤)					
利用者実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	718	689	638	640	582	508	150	138	128	117	113	86
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	516	533	490	389	383	363	93	97	89	100	99	96

令和元年度「横浜市今宿地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	13,406,037	0	13,406,037	13,406,037	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	115,000	△ 115,000	自主事業参加費
雑入	0	0	0	55,802	△ 55,802	自動販売機売り上げ
印刷代			0	0	0	なし
自動販売機手数料			0	55,802	△ 55,802	自動販売機売り上げ
その他			0	0	0	なし
その他	3,990,000		3,990,000	3,990,000	0	指定管理料から予め差引済の施設利用料
収入合計	17,396,037	0	17,396,037	17,566,839	△ 170,802	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,593,000	0	11,593,000	12,179,149	△ 586,149	
本俸	9,200,000		9,200,000	8,725,786	474,214	コーディネーター、サブコーディネーター、所長、事務職員
社会保険料	810,000		810,000	1,001,735	△ 191,735	コーディネーター、サブコーディネーター、所長、事務職員
手当計	1,500,000		1,500,000	2,306,302	△ 806,302	コーディネーター、サブコーディネーター、所長、事務職員
健康診断費	10,000		10,000	17,761	△ 7,761	コーディネーター、サブコーディネーター、所長、事務職員
勤労者福祉共済掛金			0	127,565	△ 127,565	コーディネーター、所長、事務職員
退職給付引当金繰入額	73,000		73,000	0	73,000	
その他			0	0	0	なし
事務費	640,000	0	640,000	829,502	△ 189,502	
旅費	20,000		20,000	52,278	△ 32,278	会議、研修等出張旅費
消耗品費	220,000		220,000	224,221	△ 4,221	文具、衛生用品、電気製品等
会議賄い費			0	0	0	なし
印刷製本費	95,000		95,000	81,907	13,093	コピー、印刷機消耗品等按分使用料、封筒印刷按分
通信費	100,000		100,000	105,488	△ 5,488	ADSL、電話、郵便按分
使用料及び賃借料	5,000	0	5,000	10,560	△ 5,560	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	5,000		5,000	10,560	△ 5,560	目的外使用料（自動販売機設置）
その他			0	0	0	なし
備品購入費	200,000		200,000	230,243	△ 30,243	コピー機、AEDリース按分
図書購入費			0	0	0	なし
施設賠償責任保険			0	0	0	なし
職員等研修費			0	0	0	なし
振込手数料			0	17,698	△ 17,698	銀行等振込手数料
リース料			0	0	0	なし
手数料			0	0	0	なし
地域協力費			0	840	△ 840	地域行事、展示会見学
その他			0	106,267	△ 106,267	保健衛生費（洗剤・除菌剤）、燃料費、予防接種等按分
事業費	1,591,597	0	1,591,597	247,279	1,344,318	
運営協議会経費	42,000		42,000	8,672	33,328	運営協議会開催経費
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	1,549,597		1,549,597	238,607	1,310,990	講師謝金、材料費
その他			0	0	0	なし
管理費	2,170,000	0	2,170,000	4,265,579	△ 2,095,579	
光熱水費	1,170,000		1,170,000	2,755,081	△ 1,585,081	全体額を指定管理料精算に基づき、地域交流負担金
清掃費			0	828,093	△ 828,093	
機械警備費			0	78,263	△ 78,263	
設備保全費	1,000,000	0	1,000,000	497,755	502,245	全体額を地域交流部分按分
空調衛生設備保守			0	208,142	△ 208,142	
消防設備保守			0	18,262	△ 18,262	
電気設備保守			0	99,731	△ 99,731	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費			0	171,620	△ 171,620	
共益費			0	0	0	
その他			0	106,387	△ 106,387	
修繕費	474,000		474,000	125,145	348,855	予算：指定額
公租公課	927,440	0	927,440	1,096,123	△ 168,683	
事業所税			0	0	0	
消費税	927,440		927,440	1,096,123	△ 168,683	地域活動交流人件費に対して租税公課
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	17,396,037	0	17,396,037	18,742,777	△ 1,346,740	
差引	0	0	0	△ 1,175,938	1,175,938	

自主事業費 収入	0	0	0	115,000	△ 115,000	
自主事業費 支出	1,549,597	0	1,549,597	238,607	1,310,990	
自主事業 収支	△ 1,549,597	0	△ 1,549,597	△ 123,607	△ 1,425,990	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	55,802	△ 55,802	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	5,000	0	5,000	10,560	△ 5,560	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 5,000	0	△ 5,000	45,242	△ 50,242	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和元年度「横浜市今宿地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	28,520,982	0	28,520,982	28,520,982	0	横浜市より
指定管理料【介護予防】	152,400		152,400	152,400	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,792,000		5,792,000	5,792,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	75,000	△ 75,000	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	85,900	△ 85,900	
雑入	0	0	0	55,798	△ 55,798	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0	55,798	△ 55,798	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
収入合計	34,465,382	0	34,465,382	34,682,080	△ 216,698	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>31,302,000</b>	<b>0</b>	<b>31,302,000</b>	<b>34,792,440</b>	<b>△ 3,490,440</b>	
本俸	22,500,000		22,500,000	20,882,178	1,617,822	包括3職種、コーディネーター、所長、事務職員、非常勤職員
社会保険料	3,432,000		3,432,000	4,569,178	△ 1,137,178	包括3職種、コーディネーター、所長、事務職員、非常勤職員
手当計	4,953,000		4,953,000	8,768,509	△ 3,815,509	包括3職種、コーディネーター、所長、事務職員、非常勤職員
健康診断費	70,000		70,000	87,857	△ 17,857	包括3職種、コーディネーター、所長、事務職員、非常勤職員
勤労者福祉共済掛金			0	484,718	△ 484,718	包括3職種、コーディネーター、所長、事務職員
退職給付引当金繰入額	347,000		347,000	0	347,000	
その他			0	0	0	
<b>事務費</b>	<b>421,000</b>	<b>0</b>	<b>421,000</b>	<b>1,354,721</b>	<b>△ 933,721</b>	
旅費	10,000		10,000	28,163	△ 18,163	会議、研修等出張旅費
消耗品費	140,000		140,000	223,853	△ 83,853	文具、衛生用品、電気製品等
会議賄い費			0	0	0	なし
印刷製本費	77,000		77,000	238,079	△ 161,079	コピー、印刷機消耗品等按分使用料、封筒印刷按分
通信費	45,000		45,000	452,836	△ 407,836	ADSL、電話、郵便按分
使用料及び賃借料	5,000	0	5,000	10,560	△ 5,560	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	5,000		5,000	10,560	△ 5,560	目的外使用料(自動販売機設置)
その他			0	0	0	なし
備品購入費			0	230,249	△ 230,249	コピー機、AEDリース按分
図書購入費			0	2,160	△ 2,160	なし
施設賠償責任保険			0	0	0	なし
職員等研修費	3,000		3,000	3,500	△ 500	研修参加費
振込手数料			0	11,655	△ 11,655	銀行等振込手数料
リース料			0	0	0	なし
手数料			0	0	0	なし
地域協力費			0	0	0	なし
その他	141,000		141,000	153,666	△ 12,666	保健衛生費(洗剤・除菌剤)、燃料費、予防接種等按分
<b>事業費</b>	<b>2,039,382</b>	<b>0</b>	<b>2,039,382</b>	<b>1,085,918</b>	<b>953,464</b>	
協力医	630,000		630,000	483,000	147,000	協力回数
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	944,982		944,982	192,414	752,568	講師謝金、材料費
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	152,400		152,400	120,991	31,409	講師謝金、材料費
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	312,000		312,000	289,513	22,487	合同事業費、研修費、事業用物品購入費
その他			0	0	0	
<b>管理費</b>	<b>577,000</b>	<b>0</b>	<b>577,000</b>	<b>1,132,037</b>	<b>△ 555,037</b>	
光熱水費	303,000		303,000	732,363	△ 429,363	全体額を指定管理料精算に基づき、包括支援負担金
清掃費			0	220,124	△ 220,124	
機械警備費			0	20,804	△ 20,804	
設備保全費	254,000	0	254,000	132,308	121,692	全体額を包括支援部分按分
空調衛生設備保守			0	55,327	△ 55,327	
消防設備保守			0	4,854	△ 4,854	
電気設備保守			0	26,508	△ 26,508	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費			0	45,619	△ 45,619	
共益費			0	0	0	
その他	20,000		20,000	26,438	△ 6,438	
<b>修繕費</b>	<b>126,000</b>	<b>0</b>	<b>126,000</b>	<b>33,266</b>	<b>92,734</b>	予算：指定額
<b>公租公課</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
<b>その他</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
支出合計	34,465,382	0	34,465,382	38,398,382	△ 3,933,000	
差引	0	0	0	△ 3,716,302	3,716,302	

自主事業費 収入	0	0	0	160,900	△ 160,900	
自主事業費 支出	1,409,382	0	1,409,382	602,918	806,464	
自主事業 収支	△ 1,409,382	0	△ 1,409,382	△ 442,018	△ 967,364	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	55,798	△ 55,798	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	5,000	0	5,000	10,560	△ 5,560	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 5,000	0	△ 5,000	45,238	△ 50,238	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和元年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

平成31年4月1日～令和2年3月31日

横浜市今宿地域ケアプラザ

(単位:円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入				3,500,000	3,888,999	-388,999	10,600,000	11,999,580	-1,399,580	80,923,000	60,336,633	20,586,367			0
	その他	0	0	0	8,500,000	12,550,508	-4,050,508	1,260,000	1,198,539	61,461	1,077,000	9,272,663	-8,195,663	0	0	0
	事業・負担金収入			0	8,500,000	12,550,508	-4,050,508	1,260,000	1,198,539	61,461	1,077,000	8,255,560	-7,178,560			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0		1,017,103	-1,017,103			0
	<b>収入合計(A)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>12,000,000</b>	<b>16,439,507</b>	<b>-4,439,507</b>	<b>11,860,000</b>	<b>13,198,119</b>	<b>-1,338,119</b>	<b>82,000,000</b>	<b>69,609,296</b>	<b>12,390,704</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
支出	人件費			0	5,950,000	3,471,410	2,478,590	10,330,000	11,264,230	-934,230	47,205,000	52,046,494	-4,841,494			0
	事務費			0	1,190,000	1,389,996	-199,996	1,300,000	1,198,778	101,222	3,517,000	13,073,487	-9,556,487			0
	事業費			0	3,360,000	155,049	3,204,951	230,000	195,819	34,181	11,151,000	12,793,680	-1,642,680			0
	管理費			0	1,500,000	0	1,500,000			0	15,237,000	0	15,237,000			0
	その他			0	0	5,854,542	-5,854,542	0	0	0	4,890,000	5,462,956	-572,956	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0	300,000	0	300,000			0
	介護予防プラン委託料			0		5,854,542	-5,854,542			0			0			0
	施設利用料			0			0			0	3,990,000	3,990,000	0			0
	修繕費			0			0			0	600,000	523,043	76,957			0
その他			0			0			0		949,913	-949,913			0	
	<b>支出合計(B)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>12,000,000</b>	<b>10,870,997</b>	<b>1,129,003</b>	<b>11,860,000</b>	<b>12,658,827</b>	<b>-798,827</b>	<b>82,000,000</b>	<b>83,376,617</b>	<b>-1,376,617</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
	<b>収支 (A) - (B)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>5,568,510</b>	<b>-5,568,510</b>	<b>0</b>	<b>539,292</b>	<b>-539,292</b>	<b>0</b>	<b>-13,767,321</b>	<b>13,767,321</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。



横浜市今宿地域ケアプラザ

令和元年度 自主事業計画書・報告書

事業	1 地域活動交流事業	5 共催(1と3)
	2 地域包括支援センター運営事業	6 共催(2と3)
	3 生活支援体制整備事業	7 3事業共催(1と2と3)
	4 共催(1と2)	

事業の性質 1 優先的に取り組みが求められる事業

対象者	1 高齢者	5 地域
	2 障害児・者	6 事業者
	3 養育者及び乳幼児	7 その他
	4 子ども・青少年	

番号	事業名	開始年度	事業	主な対象者	従たる対象者	事業の性質	事業目的	事業内容・実施時期	実施回数	延べ参加人数
1	合同歌声喫茶・2019	平成22年	1地域交流	5地域		1優先的に取り組み	歌好きな方々が集まって仲間作りや健康作り。また外出の機会を作ることで引きこもり予防。	区内ケアプラザとボランティア団体・歌声喫茶オアシスと実行委員会形式で運営。5月29日(水)実施	1	455
2	くつろぎカフェ	平成24年	4共催(1と2)	5地域		1優先的に取り組み	普段出かける機会が少ない方に、出かける機会を増やしてもらう。引きこもり予防。また交流関係も広げていただき仲間作りの場としてもらう。	毎月、紙芝居や絵手紙、マジックショーの催し物を準備し、利用者様に楽しんでいただく。またはじめての方にも気軽に参加していただけるボランティアさんが話し相手としてスタンバイ。午後からはレコード鑑賞会。毎月第二水曜日実施。	11	671
3	アロマの香りでストレッチ	令和元年	1地域交流	5地域		1優先的に取り組み	アロマの香りを楽しみながらリラックスし、ゆっくりとストレッチを行う。香りで日々の疲れを癒し、体幹をストレッチしていく。	毎回違った香りを楽しみ、リラックスしてストレッチを行う。香りの特性と効果も学ぶ。4/15・5/20・6/17の3回シリーズ	3	47
4	リトミック	令和元年	1地域交流	5地域		1優先的に取り組み	音楽活動を通して心や身体の発達を促す教育法。	希望が丘東地区・地区社協と共催し、ケアプラザで活動している歌の先生が音楽に合わせた運動を指導。	8	246
5	登録団体交流会	平成23年	1地域交流	5地域		1優先的に取り組み	登録団体の横の繋がりをもっていただく。貸館ルールを再確認。利用者さまからの意見を聞く。	各団体から活動報告。ケアプラザの貸館ルールの説明。利用者様からの質疑応答。4/23実施。	1	62
6	サロン今宿	平成30年	3生活支援体制整備事業	5地域		1優先的に取り組み	・生活支援体制整備事業 ・高齢者の方が社会にできるきっかけの場とする。 ・ボランティアを配置し、話し相手や飲み物を入れる等の役割を担う。 ・小さな空間を利用して集える場が作れることをご利用者やボランティア、地域住民の方々にイメージしていただくことも目的とする。	・65歳以上の方を対象としている中、地域包括支援センターとの関わりで要支援1・2の認定を受けた方を主たる参加者としている。 ・月曜日から金曜日の午前10時から午後3時までの開催とする。 ・ボランティアは午前中または午後に分けて1名から2名常駐している。 ・ボランティアが設営の準備をし、参加者に対し飲み物を準備したり話し相手になる関わりをする。	212	854
7	「成年後見制度・遺言・相続」出張相談会	平成29年	2包括	5地域		1優先的に取り組み	権利擁護事業の一環として、地域住民の相談の掘起こしや制度の普及啓発を図る。	現役の司法書士による、成年後見制度・相続・遺言、その他法律問題についての相談を受ける。年6回で実施。	6	21
8	エンディングノート活用講座	平成30年	2包括	1高齢者		1優先的に取り組み	エンディングノートの記入を通して、介護保険・介護予防・権利擁護・各種制度や相談機関等の周知を図る。	エンディングノートの使い方や記入方法についての講座を開催。第1回は『もしも手帳、介護予防、介護保険介護施設等』に関する講座。第2回は成年後見制度や相続・遺言、亡くなった後のことについて司法書士による講座。6月と7月に実施。	2	29
9	介護する家族の交流会(1)	平成28年	2包括	5地域		1優先的に取り組み	介護者がお互いに情報交換する場所として過ごして頂いたり、介護に役立つ情報の提供や専門家を招いての講座、施設見学、勉強会など企画。	高齢者の多種多様な住まいや、その仕組みについて専門講師を招き勉強会を開催した。	1	4
10	介護する家族の交流会(2)	平成28年	2包括	5地域		1優先的に取り組み	介護者がお互いに情報交換する場所として過ごして頂いたり、介護に役立つ情報の提供や専門家を招いての講座、施設見学、勉強会など企画。	「かふえ語り合い」と題し介護者がお茶など飲みながら気軽に何でも話し合える場所を6月に実施したが、当日の参加者はいなかった。	1	0



番号	事業名	開始年度	事業	主な対象者	従たる対象者	事業の性質	事業目的	事業内容・実施時期	実施回数	延べ参加数
11	大人の寺子屋1	平成28年	2包括	1高齢者		1優先的に取り組み	介護予防に関心を持ち、進んで介護予防に取り組むきっかけ作りと仲間づくりをし、継続して介護予防に取り組めるようにする。	今宿地域ケアプラザにて、リクリエーション・音楽・美術等の講義と実技 5月～3月までに5回実施(3月は新型コロナ感染拡大防止のため中止)	4	41
12	大人の寺子屋2	平成28年	2包括	1高齢者		1優先的に取り組み	介護予防に関心を持ち、進んで介護予防に取り組むきっかけ作りと仲間づくりをし、継続して介護予防に取り組めるようにする。	今宿地域ケアプラザにて、体力測定・ロコモ予防講座・体操・口腔衛生講座・栄養講座・実習 5月～3月までに8回実施(3月は新型コロナ感染拡大防止のため中止)	7	73
13	大人の寺子屋：清水ヶ丘分校1	令和元年	2包括	1高齢者		1優先的に取り組み	介護予防の知識を普及し、地域の方とつながり継続して介護予防に取り組めるようにする。また、介護保険、権利擁護、包括支援センターについて周知を図る。今宿地域ケアプラザまで来ることが難しい高齢者に対し、身近な自治会館で講座を行い交流する機会をつくる。	エンディングノートの活用講座・認知症講座・葬儀、高齢者住宅についての講座・交流会 6月～3月までに6回実施(2月末、3月の2回新型コロナ感染拡大防止のため中止)	4	59
14	大人の寺子屋：清水ヶ丘分校2	令和元年	2包括	1高齢者		1優先的に取り組み	介護予防の知識を普及し、地域の方とつながり継続して介護予防に取り組めるようにする。また、介護保険、権利擁護、包括支援センターについて周知を図る。今宿地域ケアプラザまで来ることが難しい高齢者に対し、身近な自治会館で講座を行い交流する機会をつくる。	スクエアステップ・体操・栄養・口腔衛生講座 6月～3月までに2回実施	2	24
15	スクエアステップ 中尾町会館	平成30年	2包括	1高齢者		1優先的に取り組み	近くの住民同士交流しながら、楽しく体を動かす機会をつくり、身体機能の向上と認知症予防に取り組めるようにする。地域ボランティアの育成を行なう。	スクエアステップ・体操・レクリエーション 2回/月	21	617
16	スクエアステップ スカウト会館	平成30年	2包括	1高齢者		1優先的に取り組み	近くの住民同士交流しながら、楽しく体を動かす機会をつくり、身体機能の向上と認知症予防に取り組めるようにする。地域ボランティアの発掘と育成を行なう。	スクエアステップ・体操・レクリエーション 2回/月	6	86
17	サロン散歩道 ミニ講座	令和元年	2包括	5地域		1優先的に取り組み	地域サロンに集う方々が介護予防に関心を持ち、身近にできる介護予防の知識を得て、日常生活に取り入れ、実践できるようにする。	口腔衛生についてのお話と実習 1回/月	11	714
18	あけぼの会 健康ミニ講座	令和元年	2包括	1高齢者		1優先的に取り組み	老人会あけぼの会の集会の中で元気に過ごすための秘訣であるお口の健康についての介護予防知識を普及し生活の中で実施できるようにする。	口腔衛生についてのお話「お口から行なう健康づくり」のお話と実習 6月30日実施	1	47
19	ニュータウン福祉まつり 「健康チェック」	平成27年度	2包括	5地域		1優先的に取り組み	二俣川ニュータウン地区の福祉まつりで住民の健康チェックを行い、自分の健康や介護予防に関心をもってもらう。また、介護情報、介護相談コーナーを設け地域包括支援センターの周知や各種情報発信を行なう。	体組成・骨年齢測定、健康・介護・福祉相談の実施 6月8日実施	1	82
20	介護する家族の交流会(3)	平成28年度	2包括	1高齢者		1優先的に取り組み	介護者がお互いに情報交換する場所として過ごして頂いたり、介護に役立つ情報の提供や専門家を招いての講座、施設見学、勉強会など企画。	協力医のつくしクリニック安部医師を講師に招き前半は「排尿障害・前立腺肥大」について講義。後半は座談会形式で質疑応答。	1	3
21	子どもの為の救命救急	平成28年度	1地域交流	4子ども		1優先的に取り組み	子ども、乳幼児の人形を使用し、心肺蘇生法を実習する。	AEDの使用法、緊急時の対処法、対応法を学ぶ。子ども、乳幼児の人形を使い心肺停止時の対応の蘇生を実習。	1	0
22	今宿サマーフェスタ	平成14年度	1地域交流	5地域		1優先的に取り組み	毎年1回地区センターと共催で実施、地域の交流を深める施設のお祭り。	駐車場は二俣川ニュータウンの連合のみなさんが模擬店を実施。多目的ホールは2日間「健康フェア」を実施。	1	2,000
23	日曜大工に挑戦	令和元年	1地域交流	5地域		1優先的に取り組み	日曜大工作業をきっかけに、地域のボランティアに参加していただく。	1回目：マガジンラック 2回目：額プランター 3回目：踏み台(施設に寄付)	3	15
24	サマーフェスタ 「健康フェア」	平成24年度	2包括	5地域		1優先的に取り組み	地域住民が自分の健康に関心を持ち健康向上について考えるきっかけを作り介護予防活動や事業の参加へつなげる。	身長・体重・血圧・体組成・骨年齢の測定。	1	277

番号	事業名	開始年度	事業	主な対象者	従たる対象者	事業の性質	事業目的	事業内容・実施時期	実施回数	参加人数
25	スクエアステップ・サロン	令和元年	3生活支援体制整備事業	1高齢者		1優先的に取り組み	楽しく体を動かす機会をつくり、身体機能の向上と認知症予防に取り組めるようにする。地域ボランティアの発掘と育成を行なう。地域住民、参加者同士の交流の場をつくる。	スクエアステップ・茶話会	7	71
26	もしも手帳活用講座	令和元年	2包括	1高齢者		1優先的に取り組み	権利擁護活動の一環として、もしも手帳の利用促進に向け治療やケアに関する意思表示の重要性や理解を深める。	老人会として活動している団体向けに講座を実施。5月実施。	1	12
27	オレンジcaféのぞみ	平成28年度	2包括	5地域		1優先的に取り組み	認知症とその家族を支援したり、支援者同士の連携を深めたり、地域で認知症の人を支えていくためのベースを作る。	偶数月の第3日曜日に、デイサービスのぞみのデイスペースを使ってカフェを開催。参加は誰でも自由に行ける。	4	55
28	映画上映会	平成29年度	2包括	5地域		1優先的に取り組み	世界アルツハイマーデーに合わせた、認知症の正しい理解に向けた普及啓発活動の一環。また認知症の当事者とその家族を地域全体で見守り支援していくための体制整備。	認知症に関する映画3部作『毎日アルツハイマーデー』のファイナルを上映。9月実施。	1	34
29	キュービー勉強会&試食会	令和元年	2包括	5地域		1優先的に取り組み	高齢期の身体変化や栄養摂取について学び、低栄養を防いで健康寿命を延ばす。また介護等場面における介護負担の軽減が図れる。	スライド等を利用して高齢期の身体変化や食事摂取の注意、転倒についての講義。また、キュービーの取扱商品の試食会を実施。	1	34
30	体力測定	令和元年	2包括	1高齢者		1優先的に取り組み	自分の体力を知り、現在の体力を維持、向上できるようにする。	体組成測定と体力測定(体脂肪率、握力、CS30、開眼片足立ち、座位体前屈、2ステップテスト)	1	12
31	ハワイアンコンサート	令和元年	1地域交流	5地域		1優先的に取り組み	ウクレレグループ・マウナケアの発表の場とし、活動活性化、メンバー募集につなげる。また音楽を通じ、憩いの場、地域交流の場とする。	自主活動して6年になる「マウナケア」の発表の場。音楽を通じて憩いの場、地域交流につなげる。	1	50
32	高齢者のお楽しみ会	令和元年	1地域交流	1高齢者		1優先的に取り組み	外出の機会が少ない一人暮らしの高齢者に交流の場を提供し、歌を歌ったり、ビンゴゲームをして楽しんでいただく。	講師の指導で、軽い体操のあと、童謡メロデーや唱歌などを歌い、ビンゴゲームを楽しむ。	1	50
33	ハンドベルコンサート	令和元年	1地域交流	5地域		1優先的に取り組み	外出の機会が少ない高齢者に、普段耳にすることの少ないハンドベルの音色を聞いていただく。	最初ハンドベルの演奏を聞いていただき、また希望者にはメンバーと一緒に演奏を体験していただいたり、懐かしい曲、おなじみの曲等を演奏に合わせて歌ったり楽しい時間でした。	1	22
34	介護する家族の交流会(4)(かふえ語り合い)	平成28年度	2包括	1高齢者		1優先的に取り組み	介護者がお互いに情報交換する場所として過ごして頂いたり、介護に役立つ情報の提供や専門家を招いての講座、施設見学、勉強会など企画。	「かふえ語り合い」と題し介護者がお茶など飲みながら気軽に何でも話し合える場所を設けた。10月実施。	1	2
35	介護する家族の交流会(5)(介護保険勉強会)	平成28年度	2包括	1高齢者		1優先的に取り組み	介護者がお互いに情報交換する場所として過ごして頂いたり、介護に役立つ情報の提供や専門家を招いての講座、施設見学、勉強会など企画。	「介護保険の勉強会」と題し介護保険制度の説明を行った。介護保険の対象者、保険料、申請の流れ、認定区分と介護度別の身体状況のめやす。申請の要因。サービス種類、在宅編、居住施設編。質疑応答式の講座とした。	1	2
36	権利擁護講座	令和元年	2包括	1高齢者		1優先的に取り組み	権利擁護に関連する制度や取組みについての理解を深め、制度の利用促進、権利侵害の予防や対応、権利行使の支援等に繋げていく。	近隣銀行との共催にて、権利擁護に関する講座を11/19、1/22、2/14の3回連続で開催。第1回は「家族信託」、第2回は「特殊詐欺被害防止の取組み」、第3回は「相続・遺言」。	3	51
37	旭ふれあい区民まつり行政・PRコーナー出展事業	平成24年度	1地域交流	5地域		1優先的に取り組み	来場しているお客様に地域ケアプラザについて知る機会を作る。	・ケアプラザ機能の周知 ・各ケアプラザの事業をパネルで紹介 ・11月11日から実施するウォーキングスタンプラリー大会の周知 ・子育て世代を中心に多世代交流プログラムの実施(輪投げ)	1	600
38	みんなの居場所作り応援気宇座	令和2年	1地域交流	3乳幼児		1優先的に取り組み	これから地域活動を始めたい人に向けた講座。	「くろぎカフェ」で培ったノウハウを伝えながら居場所づくりの基本を学ぶ。現地視察もを行い、イメージを掴んでもらう。(5回シリーズ)	5	60
39	時短レシピクッキング	令和2年	1地域交流	5地域		1優先的に取り組み	自然災害時、自宅避難になったときでも簡単に出来る料理教室。	ビニール袋に入れた米や具材を大鍋で湯煎し、キーマカレー、卵料理、サラダ用のゆで鶏の4種類を作った。	1	13
40	介護する家族の交流会(6)	平成28年度	2包括	1高齢者		1優先的に取り組み	介護者がお互いに情報交換する場所として過ごして頂いたり、介護に役立つ情報の提供や専門家を招いての講座、施設見学、勉強会など企画。	講師に白杉望医師(横浜旭中央病院)を招き、「気になる足のむくみと下肢静脈瘤」の講義。静脈の役割、足のむくみ外来、下肢静脈瘤の大事なポイント、予防法、治療について、受診のタイミング等。講義後に質疑応答。個別の相談にも対応した。	1	45
41	精神保健福祉講座	平成31年度	2包括	5地域		1優先的に取り組み	地域住民や地域の支援者を対象に、精神障害への理解を深め、基礎知識や支援・対応方法についての普及・啓発活動。	両親の高齢化とひきこもりと題して、8050問題について講師による講座を実施。ひきこもり当事者の想いや支援のあり方について学ぶ機会を設けた。	1	28